

ティピー！

企画書

平成19年10月

NPO法人 子ども生活ゆめこうば

はじめに

子ども生活ゆめこうばは、三鷹という地域の中で子どもの育ちを考えてゆく活動を続けております。その一環として、インディアンの住居であるティピーの制作とそれを中心とした遊びの場作りを企画しております。本書は、企画の内容をご説明するものです。

1. 企画の概要

子どもたちの共同作業で本格的なティピーを制作したのち、ティピーをシンボルとして様々な遊びの活動を行う。そこでは、インディアンの文化に沿った形であらゆる活動を実施し、非日常の世界を演出する。

そうした活動の中で、ティピーを中心とした子どもたちのコミュニティが形成されることを狙う。

2. 企画の趣旨

ティピーは簡単に組み立てたり、分解したりできる「すみか」であり、子どもたちの居場所となりうる。自分たちで作ったティピーであれば愛着も湧き、また他にないものであるだけに、ティピーに集まること自体が子どもたちの目的となりうる。

ティピーはそのようなシンボリックな意味合いを持つだけでなく、インディアンの象徴という観点から、ティピーを取り巻く空間をインディアンの場として演出し、非日常の世界に浸ることで、子どもたちに意識の高揚した状態を作り出すことができる。

また、インディアンの生活や遊びを体験することを通して、インディアンの精神の根底にある自然との共生の精神に触れ、日常を見直すきっかけとなりうる。

このような場を形成することができれば、自ずから子どもたちのコミュニティができ、子どもたちの継続した居場所として、また生きた体験のできる場として大きな意義を見出すことができると考えられる。

3. 要素

(1) ティピーの制作

子どもたちの共同作業で、複数回の活動の中で1つのティピーを作り上げる。

活動のシンボルとしての長期使用に耐えるため、素材、構造を考慮する。

(2) 遊び

ティピー制作の活動の中で、インディアンらしい素材を使った遊びを取り入れ、インディアンのイメージを醸成する。

(3) 装飾

子どもたちの中にイメージされたインディアンの世界を表現することで、ティピーの生地に絵付けを行う。

また、活動を通して、各自がインディアンらしい装飾を身につけ、ティピーを取り巻く場を演出する。

(4) 生活

インディアンの生活に即した料理を、調理方法や食べ方などまでインディアンの方法で行う。

(5) 精神

万物への感謝をささげるなど、毎回の活動の中で儀式化する。

また、年配の方にインディアンの古老に扮してもらい、インディアンに伝わる物語や逸話を話してもらおう。

4. 活動の展開

段階	意識付け	制作	遊び
趣旨	ティピーを作ることへの目的意識を共有する。	前段階で得たインディアンに対するイメージを表現することに重点を置きながら、ティピーのシートを実際に制作する。	完成したティピーを拠点とした遊びを展開する。その中で、インディアンの精神を学ぶ。
内容	インディアンの装飾品作り、ボディーペイント 物語や詩の読み聞かせ インディアンにちなんだ遊び	ティピーの部品作り シートへの絵付け 組み立て 読み聞かせ、遊びは継続	ティピーの組み立て 読み聞かせ 遊び おやつ作り
場所	屋外 テントを利用して落ち着いて作業できる場所も確保する	屋内中心 遊びは屋外も利用	屋外
準備	装飾品 物語、詩の選定 遊びの選定 テント	全体設計 シート(帆布) 留め具(木) ポール(竹) 画材	ティピーの保管場所 ティピーの運搬 遊びの企画 おやつ作りの企画
運営	実施形態案 ①会員制とし、会費を集める。継続的な参加を前提とする。 ②月1回、土日連続の開催とする。		

以上